

2026 年 9 月 1 日

Page. 1

手書きの英語答案を瞬時に AI 採点する革新的学習システム 『ECC AIドリル』を 2027 年 4 月リリース — 手書き学習と AI を融合、独自技術で即座に評価・フィードバック —

総合教育・生涯学習機関の株式会社 ECC（本社：大阪市北区、代表取締役社長：花房雅博 以下、ECC）は、2027 年 4 月より、紙の問題用紙に手書きで解答した英語答案を AI が認識し、問題形式に応じて自動採点・評価、フィードバックを行う英語学習システム『ECC AIドリル』の提供を開始いたします。

本サービスは、教育現場や試験現場で依然として主流である「紙に手書きで解答する」というアナログな学習スタイルを尊重しながら、AI による高速・高精度な採点とフィードバックを実現する学習サービスです。最大の特長は、既存の自動採点システムとは異なり、1 枚の問題用紙に混在する選択式・穴埋め式・自由英作文など、多様な形式の問題を認識し、問題形式に応じた方法で一括して採点・評価できる点にあり、ECC が新たに実現した学習システムとなっています。



ECC は今後も、対面指導における「人だからこそ提供できる温かみやモチベーション向上」を最大価値と定義しつつ、『ECC AI ドリル』のようにデジタルのスピードと利便性を最大活用し、手書きを重視した教育にテクノロジーを融合させることで、真の国際人の育成にさらに貢献してまいります。

■ 開発の背景：「手書き学習」と「デジタル採点」の両立

従来の英語学習、特にライティング分野における自動採点システムは、キーボードによる入力を前提としたデジタルデータによる評価が主流でした。しかし、実際の入試や学校現場では「手書きでの記述」が中心であり、普段のタイピングでの学習と本番の手書きでの記述との間に乖離が生じていました。さらに、デジタル入力のオートコンプリート（入力補助）機能に依存することで正確なスペリングが定着しにくい問題や、手書き答案の回収・人手採点に時間を要し、学習サイクルが遅れるという重要な課題が存在していました。

ECC は、これらの課題を一挙に解決するため、「紙に書いて覚える身体的アプローチ」と「デジタル AI による即時評価」を高度に両立させる、『ECC AI ドリル』を開発いたしました。

【本件に関わる取材などは、下記連絡先までお問い合わせください】

株式会社 ECC 広告広報・マーケティング本部 広告広報部 担当：水野、眞井（受付 平日 10:00～19:00）

Tel: 06-6352-0148 Fax: 06-6352-0138 E-mail: kouhou@ecc.co.jp

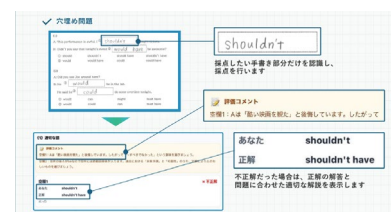
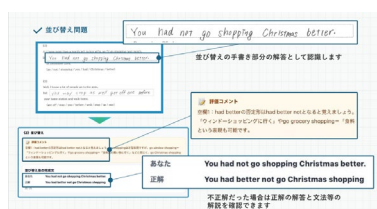
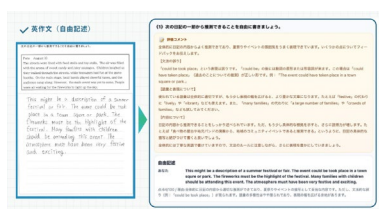
■『ECC AIドリル』3つの要素の統合 <特許出願中>

現在、教育業界にはAIを活用した特定業務に特化したツールが存在します(例:採点結果のデータ入力・集計・分析に特化した業務効率化ソフト、選択式や正誤が決まった単純記述問題の自動判定、自由英作文だけのAI評価など)。

しかし、『ECC AIドリル』の最大の特徴は、それらを個別に提供するのではなく、以下の「3つの要素」を同時に成立させている点にあります。

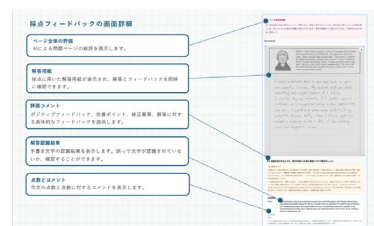
① 多様な問題形式への対応(選択・記述・自由記述の一括認識)

選択肢の記号や穴埋め問題だけでなく、並び替え、そして正答が一つに定まらない「自由英作文」まで、1枚の答案に含まれるあらゆる記述問題を手書きのまま高精度で判別し、1枚のシートから同時に採点・評価します。



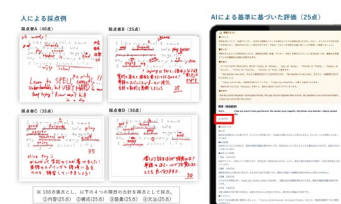
② 問題ごとに個別最適化された評価・フィードバック(高い採点精度)

問題用紙に印刷された「ページID」をAIが瞬時に認識。各ページや設問ブロック(答えが1つのブロック、複数あるブロック、自由回答ブロック)ごとに、あらかじめ設定された最適な採点基準や評価項目を自動判定して適用します。これにより、高精度な採点と、具体的なパーソナルなアドバイスの提示を両立しています。



③ 統一された基準での客観評価(採点品質の統一)

採点者の主観や体調、熟練度によって評価にばらつきが生じやすい自由記述問題において、AIが統一された基準で客観評価を実施。採点現場での採点ばらつきを減らし、「標準化された評価」を実現します。



■ 観点別評価と多面的フィードバック例(自由記述)

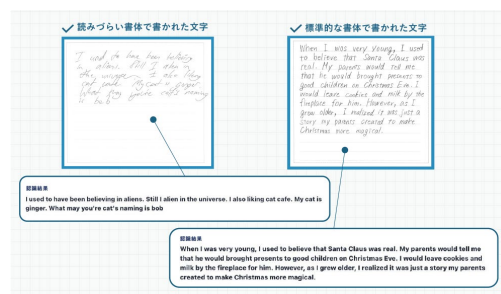
手書きの自由英作文問題に対して、AIが問題の特性に応じて個別に設定された多面的な観点で評価を行います。これにより、指導者が膨大な時間をかけて行っていた指導水準を、AIが一瞬で代替・再現します。

【採点項目の一例】

1. 内容 : 出題されたテーマに沿った具体的な解答が書かれているか
2. 構成 : 文と文のつながりが論理的で、正しい流れに組み立てられているか
3. 語彙 : 適切な単語や慣用表現が正しく、かつバリエーション豊かに使われているか
4. 文法 : 主語と動詞の一致や適切な時制、文構造が正確に守られているか

また、標準的な書体から読みづらい書体まで、小学生から大人まで、様々な受験者の手書き文字など、幅広い筆跡パターンに対応し、数秒で認識します。

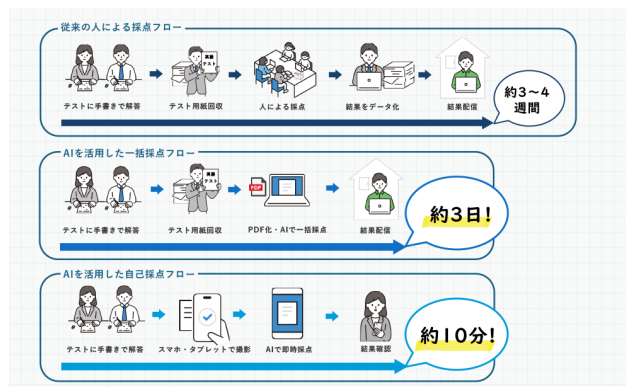
フィードバック画面には、「総評コメント」「良かった点を褒めるポジティブフィードバック」「具体的な改善ポイント・修正案」など、モチベーションを保つ充実した指導内容が凝縮されています。



■ 圧倒的な採点スピード

これまでの「回収・人手採点」によるタイムラグをなくし、圧倒的なスピードで結果を表示します。

生徒がスマートフォンやタブレットで答案用紙を撮影するだけで、AI が十数秒から 30 秒程度であらゆる問題の採点を完了。撮影から復習まで、その場での自己採点・学習を可能にします。



■ 提供概要および、今後の展望

【サービス名】ECC AI ドリル

【リリース時期】2027 年 4 月(予定)

【ECC 対象コース】2027 年 4 月以降、ECC 各コースにて順次導入予定

【提供形態】Web ブラウザベースのクラウドサービス(Google Chrome 搭載、カメラ機能付き端末対応)

【活用シーン例】

<自宅でのドリル学習>

紙のドリルやワークシートに手書きで解答し、その場で間違いを確認し、正しい表現を学べることにより、学習効率が飛躍的に向上

<定期的な振り返り>

学習履歴がデジタルで蓄積されるため、過去の解答や成長の軌跡の振り返り、弱点分野の洗い出しにより、重点的に復習することで着実にレベルアップ

総合教育・生涯学習機関

**■株式会社 ECC** <https://www.ecc.co.jp/>

ECC は 1962 年の創業以来、60 年以上にわたり、さまざまな教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることを ECC の使命としています。

▶本社所在地:大阪市北区東天満 1-10-20 ECC 本社ビル

▶創業:1962 年 6 月

▶事業内容:

総合教育・生涯学習機関として、語学スクールの運営・語学研修の提供など、さまざまな教育活動を展開

ECC 外語学院

ECC 英語キャリア育成

ECC エアライン学院

ECC 海外留学センターLET'S

ECC オンラインレッスン

ECC ジュニア・BS 教室

ECC シニア教室

ECC の個別指導塾ベストワン

ECC 編入学院

ECC 日本語学院

ECC 学童スクール

ECC 法人向けサービス

ECC ウェルネス(通信販売)

<関連法人>

株式会社 ECC ベストキャリア(人材派遣・紹介)

株式会社まなびおキッズ(英語学童)

ECC FOREIGN LANGUAGE INSTITUTE OF THE PHILIPPINES INC.(オンライン英会話)

ECC ONLINE EDUCATION INC.(オンライン英会話)

ECC SCHOOL OF GLOBAL COMMUNICATION INC.(フィリピン留学)

<提携法人>

学校法人山口学園

ECC 国際外語専門学校/ECC コンピュータ専門学校/ECC アーティスト美容専門学校/ECC 学園高等学校